

目標達成計画

作成日：平成 28 年 3 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	毎日の関わりの中で、本人の思いや希望、意向の把握が出来るような会話に努めており、その意図を深く理解できている職員がほとんどではあるが、スキルアップが必要な職員には、認知症ケアの教育が大切である。また10分間ケアの実施に向け、人員と時間の確保も必要である。	これからも、利用者が心穏やかに生活していける支援を行っていくために、職員の認知症と、グループホームのあり方の理解を深め、スキルアップをめざす。	ユニット会議等で、利用者が何を求めているか話し合い、情報を共有していく。また、新人職員などには、個別に支援内容を理解出来るよう伝えていく。また、利用者とは、片手間ではなく、じっくり向き合う時間の確保のために、業務改善を行う。	12ヶ月
2	23	心のケアに重点をおき、利用者の意識の高まるポイントを見つけ、その人の真髄にせまるコミュニケーションを大切にしていきたい。	心のケアチェックリストを参考に、10分間ケアに取り組んでいく。それにより、利用者ひとりひとりが今日は良い1日だったと思える、心のケアをめざす。	職員間の連携を大切にし、効率よく業務を行い、時間を作る。片手間ではなく1日10分～15分じっくり向き合う、10分間ケアを実践していく。ケアの内容をきちんと記録に残し、職員間で共有していく。また、どの職員も利用者の心を知るコミュニケーションができるよう、意識を高めていく。	12ヶ月
3	26	職員がケアプランを周知し支援していくことを、更に徹底し、次のプランの見直しに活かしていく。	介護記録にケアプランを反映し、把握できるような様式を見直す。	計画作成担当が中心に、介護記録の様式の見直しを行う。特記事項欄にプランの支援目標に関連した内容を記入するなどし、プランの周知徹底、評価をしやすくするとともに、次回のカンファレンスに活かしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。